

h) ハブ、ヒメハブ

ハブとヒメハブの確認状況を表 6.1.5-22、確認位置を図 6.1.5-41～図 6.1.5-47 に示した。

ハブは、G 地区、H 地区、N-4 地区で確認されたが、いずれも確認個体数は少なかった。G 地区では幼体を確認され、周辺で繁殖したものと考えられた。

ヒメハブは全 4 地区で確認された。特にリュウキュウカガエルやハナサキガルの繁殖期である冬季に G 地区 52 個体、H 地区 45 個体、N-1 地区 45 個体と多く、カエル類の繁殖場所で捕食のため集まっている様子であった。全 4 地区で幼体を確認されており、周辺で繁殖しているものと考えられる。

表 6.1.5-22 ハブとヒメハブの確認状況一覧

G地区

区分/季節		ハブ				区分/季節		ヒメハブ			
		春季	夏季	秋季	冬季			春季	夏季	秋季	冬季
個体の確認	成体	2	0	0	2	成体	19	10	6	52	
	幼体	0	0	0	1	幼体	0	1	0	0	
	計	2	0	0	3	計	19	11	6	52	

H地区

区分/季節		ハブ				区分/季節		ヒメハブ			
		春季	夏季	秋季	冬季			春季	夏季	秋季	冬季
個体の確認	成体	2	3	0	0	成体	11	6	2	45	
	幼体	0	0	0	0	幼体	2	0	0	0	
	計	2	3	0	0	計	13	6	2	45	

N-1地区

区分/季節		ハブ				区分/季節		ヒメハブ			
		春季	夏季	秋季	冬季			春季	夏季	秋季	冬季
個体の確認	成体	0	0	0	0	成体	15	7	3	42	
	幼体	0	0	0	0	幼体	0	2	0	3	
	計	0	0	0	0	計	15	9	3	45	

N-4地区

区分/季節		ハブ				区分/季節		ヒメハブ			
		春季	夏季	秋季	冬季			春季	夏季	秋季	冬季
個体の確認	成体	0	1	-	-	成体	24	18	-	-	
	幼体	0	0	-	-	幼体	0	2	-	-	
	計	0	1	-	-	計	24	20	-	-	

注 1) 目視で約 100cm 以下の個体とした(ハブは全長約 40cm で孵化し、最小成熟雌は約 105cm)。

参考: 沖縄県中部保健所資料. ハブはこんな動物.

(<http://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/hoken-chubu/eisei/kankyoeisei/33habu/hbbiolgy.html>)

注 2) 目視で約 40cm 以下の個体とした(ヒメハブは頭胴長約 15cm で孵化し、最小成熟雌は 43.6cm)。

参考: 西村昌彦・香村昂男(2000). ヒメハブの産卵と孵化. 沖縄生物学会誌 (38) :pp. 47-58

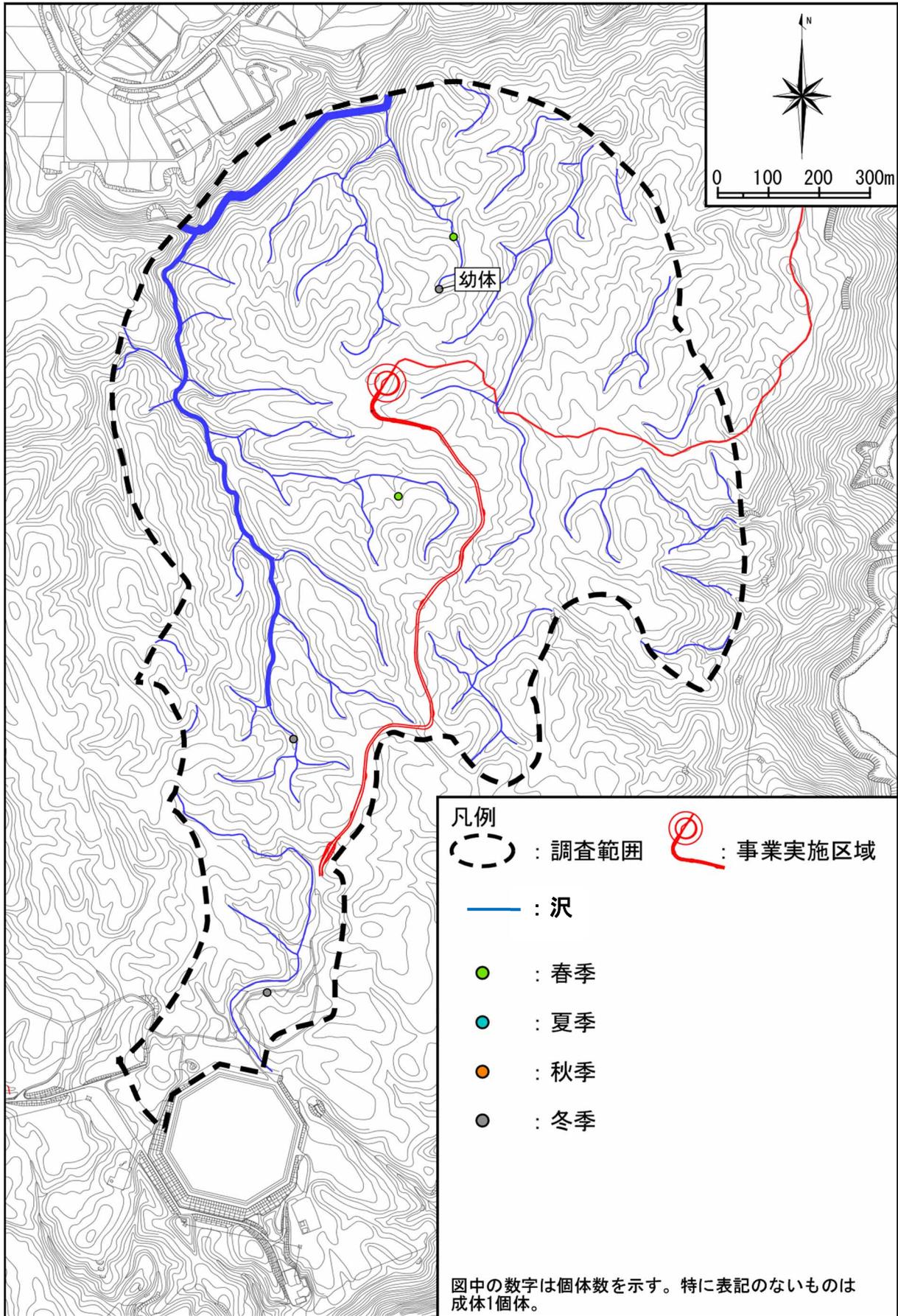


図 6.1.5-41 ハブの確認位置(G 地区)

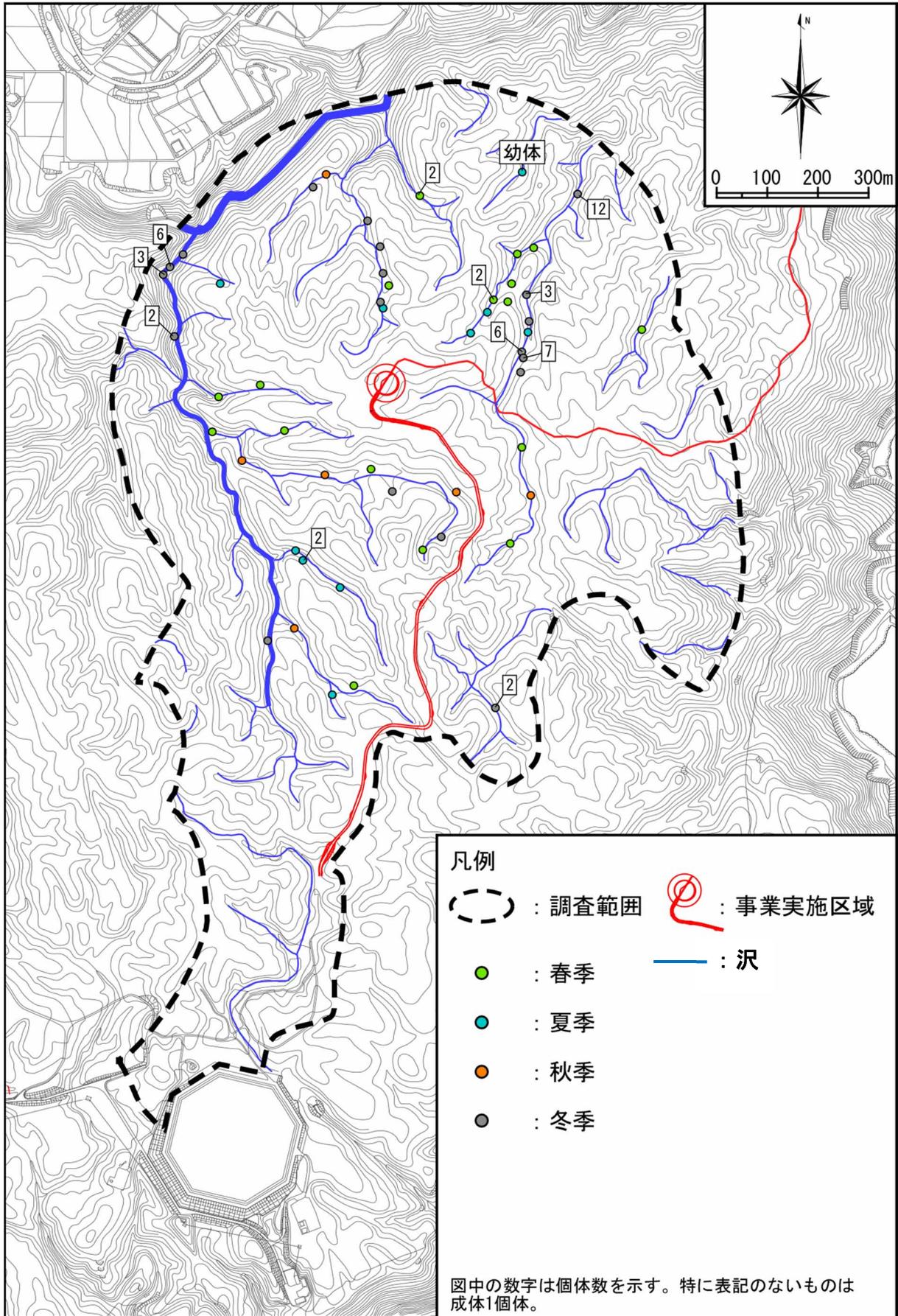
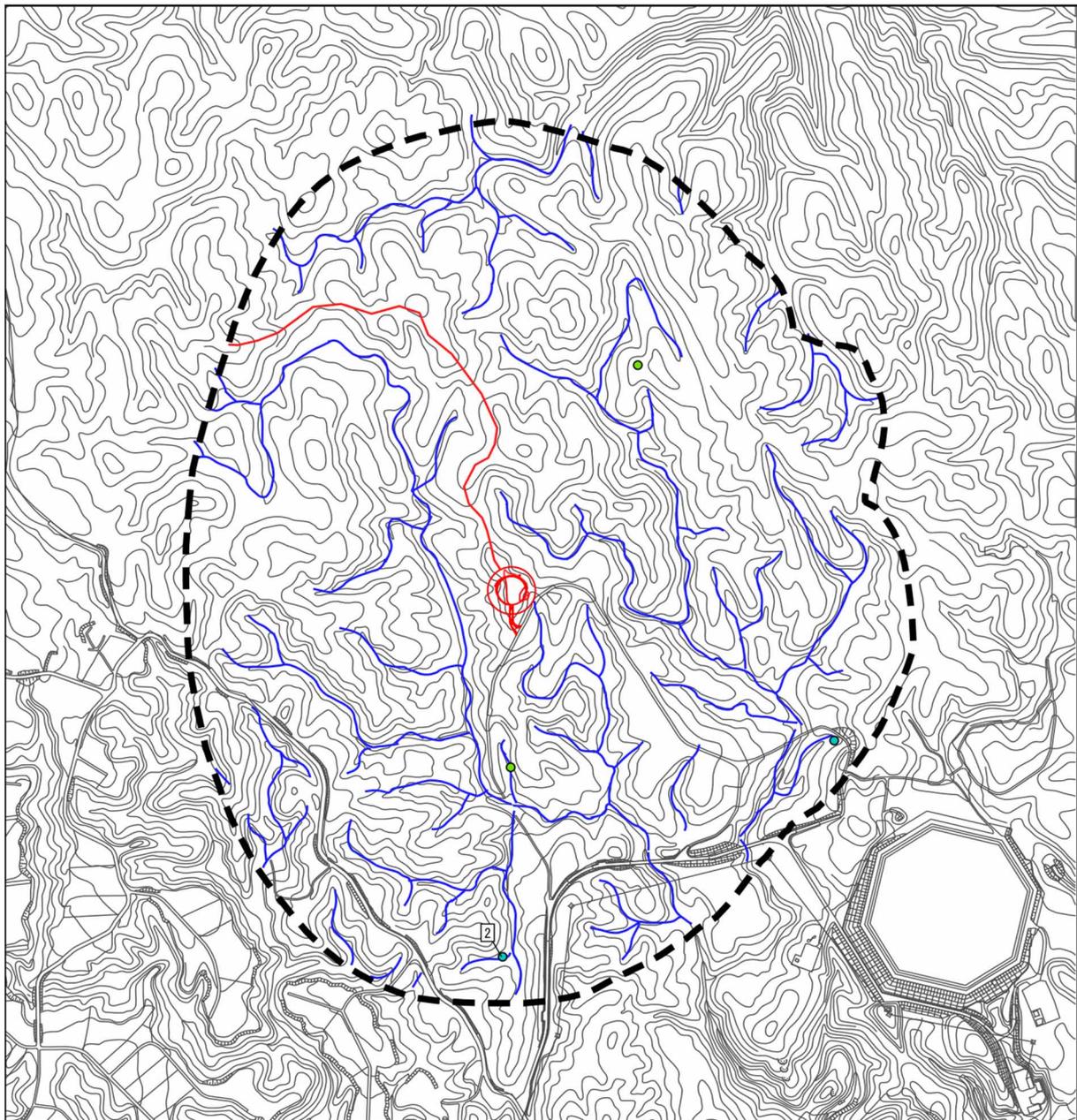


図 6.1.5-42 ヒメハブの確認位置(G 地区)



凡例

(---) : 調査範囲 (⊗) : 事業実施区域 — : 沢

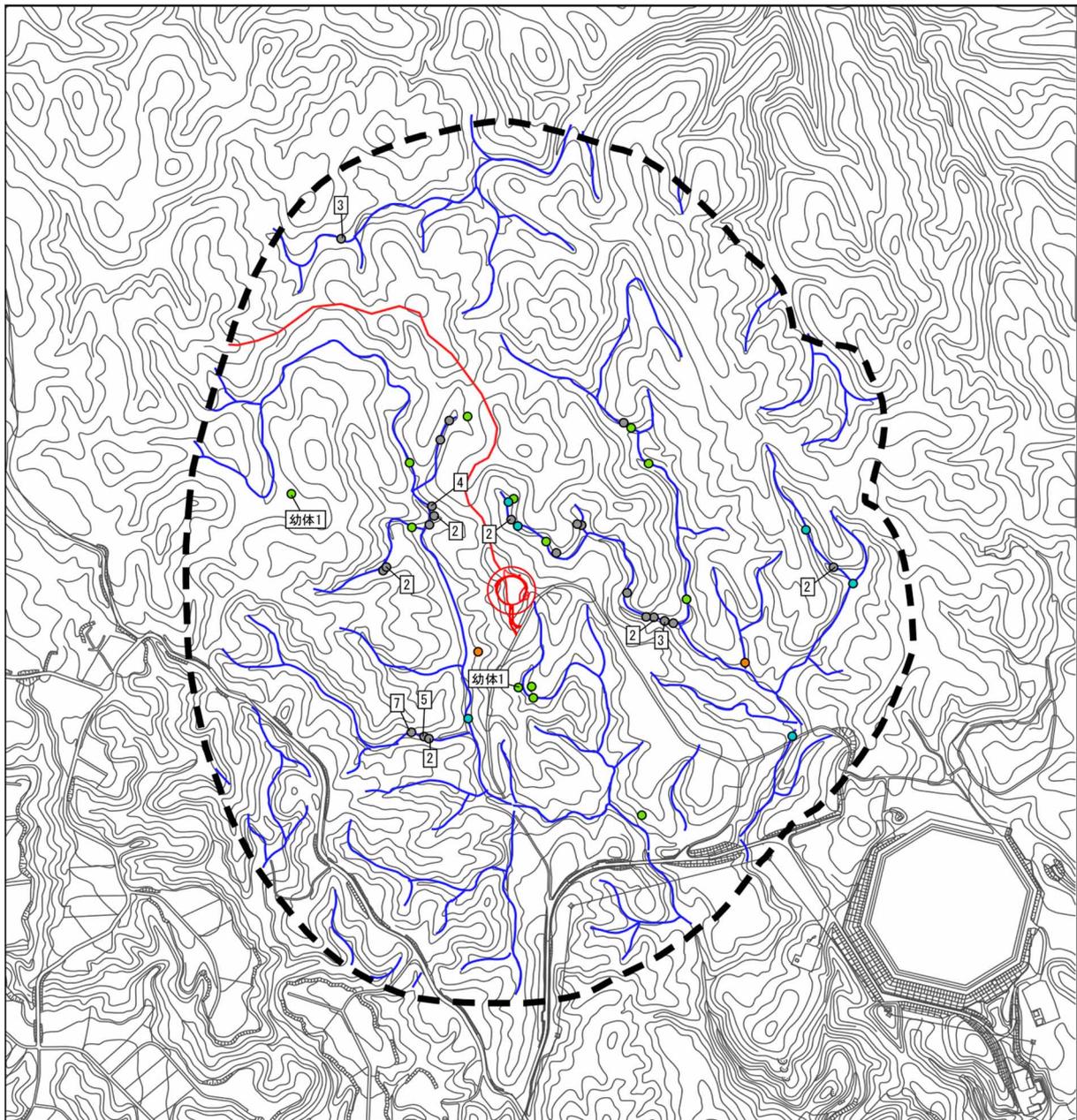
- : 春季
- : 夏季
- : 秋季
- : 冬季



0 100 200 300 400m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

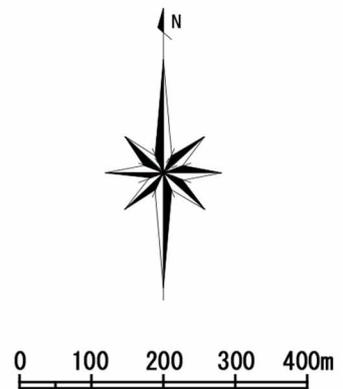
図 6.1.5-43 ハブの確認位置(H地区)



凡例

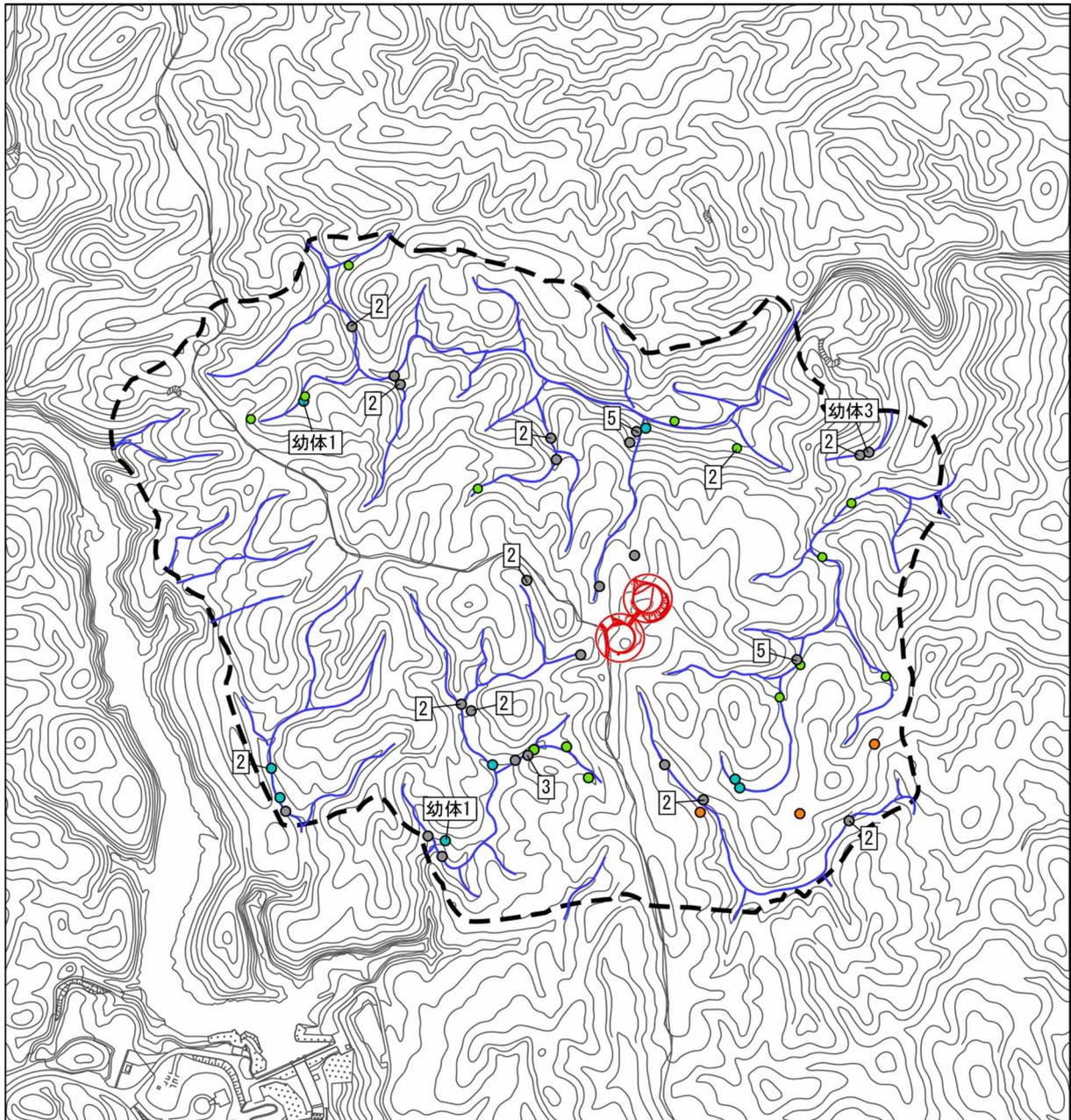
(---) : 調査範囲 (⊙) : 事業実施区域 — : 沢

- : 春季
- : 夏季
- : 秋季
- : 冬季



図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-44 ヒメハブの確認位置(H地区)



凡例

 : 事業実施範囲
  : 調査範囲
  : 沢

-  : 春季
-  : 夏季
-  : 秋季
-  : 冬季



0 100 200 300 400m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-45 ヒメハブの確認位置(N-1 地区)

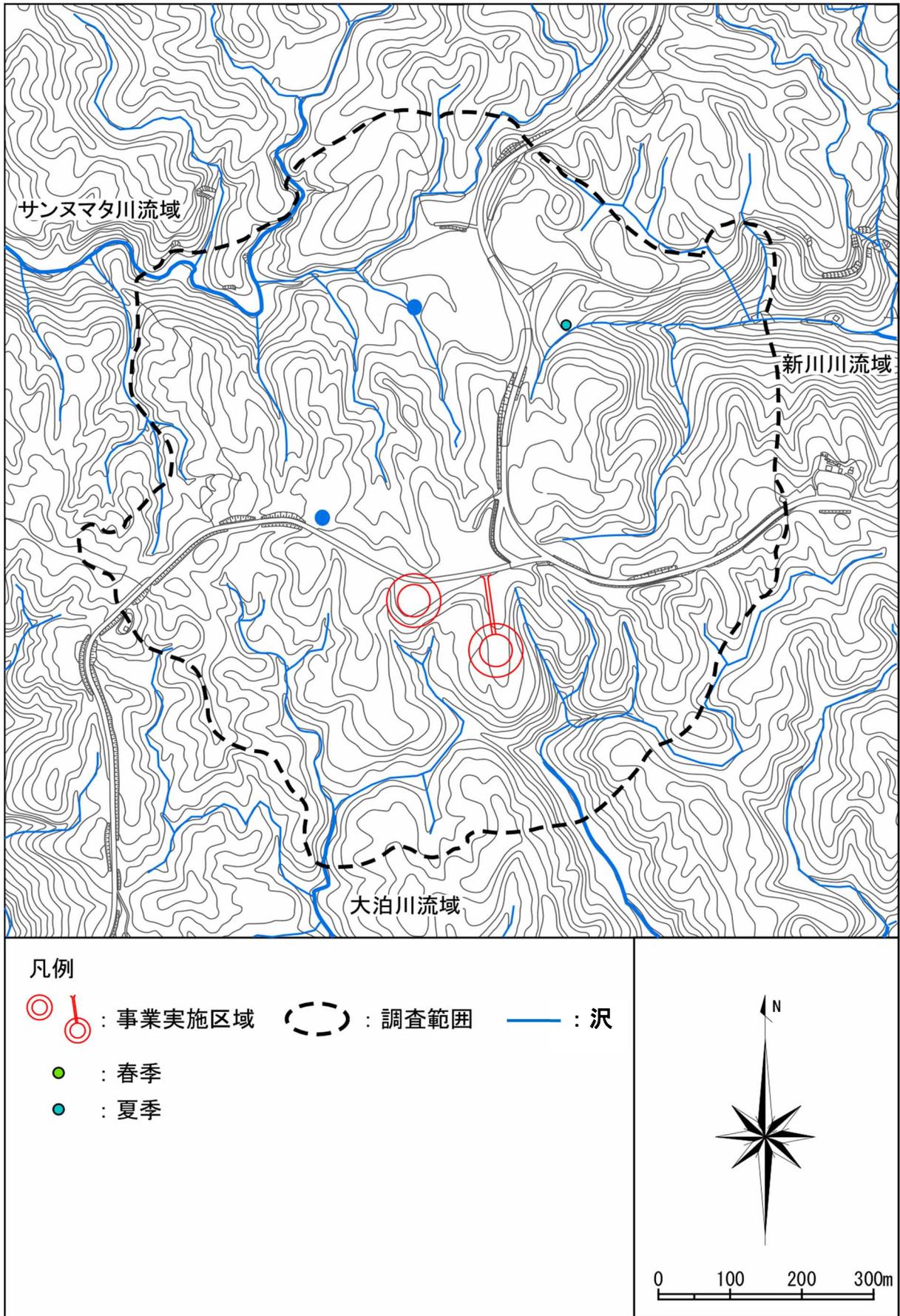
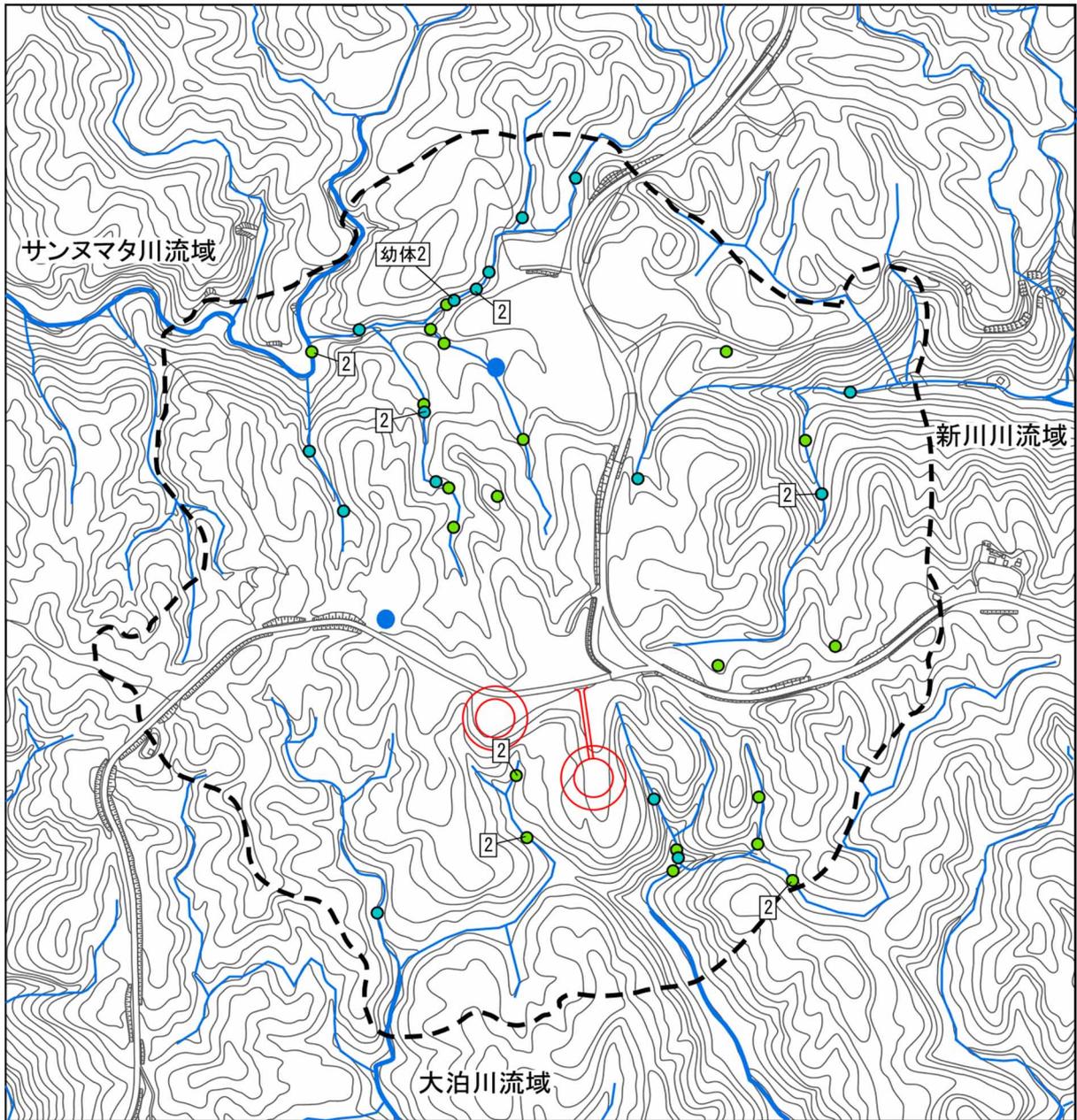


図 6.1.5-46 ハブの確認位置(N-4 地区)



凡例

- : 事業実施区域
: 調査範囲
: 沢
- : 春季
- : 夏季



0 100 200 300m

図中の数字は個体数を示す。特に表記のないものは成体1個体。

図 6.1.5-47 ヒメハブの確認位置 (N-4 地区)